



4



5



6



1



3



2

降ひょう被害に負けずに —— 33年連続の献上桃選果・箱詰式 「献上桃の郷」の夏

33年連続の献上桃選果・箱詰式

町の主力品種「あかつき」の収穫時期を迎えた7月29日、JAふくしま未来桑折支店で33回目の「献上桃選果・箱詰式」が行われました。当日の朝、収穫された11万個から、光センサー選果機で選別した糖度12度以上の600個の桃が並びました。桃生産部会長や生産者代表、県職員らが形や色、傷の有無などを確認しながら210個を厳選。三津間一八代表理事組合長は「生産者二百数十名のためまぬ努力の結果。5月には降ひょうの被害もありましたが、立派な桃ができました」と関係者への敬意と今年の出来栄を語りました。

高橋宣博町長は「献上桃は生産者の情熱と誇りの結晶。直売所にできる長い列は今や町の風物詩。全国に誇れる町の宝だと実感している」と祝辞を述べ、献上桃は翌日、宮内庁に届けられました。

1・2・3・4_ 選果式では、関係者らが一つ一つ桃の状態を確かめながら厳選 5_ 職員の手で丁寧に箱詰めされます 6_ 福島県庁にて佐藤宏隆副知事（左）に朝採れの桃を届ける高橋町長